

平成28年度事業報告書

〔 平成28年4月1日から
平成29年3月31日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

平成 28 年度 事業報告書

1 概要

当社は、下水道公社定款に基づき、流域下水道及び流域関連公共下水道の維持管理に関する業務のほか、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究を行い、県及び市町の下水道事業に協力し、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行いました。

事業の実施にあたっては、「公益財団法人神奈川県下水道公社第 5 期経営改善計画」に基づき、効率的な運営に努めると共に、より一層の経費の削減に取り組みました。

2 受託事業

神奈川県が設置する流域下水道の処理施設の運転操作等維持管理業務及び流域関連公共下水道の水質分析等技術的業務を受託し、創意と工夫をもって主体的に業務に取り組み、県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、次の事業を行いました。

(1) 流域下水道の下水処理等維持管理事業

神奈川県から相模川及び酒匂川流域下水道の下水処理等維持管理業務を受託し、下水処理場施設、幹線管渠及び関連するポンプ場施設等の維持管理を行いました。

ア 主な維持管理施設等の概要

平成 28 年度の主な下水道維持管理施設等は、次表のとおりです。

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
敷 地 面 積	26.9 ha	19.6 ha	9.8 ha	7.0 ha
水 処 理 施 設 (施設能力 日最大)	6 系列 (322,800m ³ /日)	9 系列 (539,100m ³ /日)	3 系列 (108,000m ³ /日)	2 系列 (56,480m ³ /日)

処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
汚泥脱水設備	ベルト 4台 遠 心 2台 スクリュウ 1台	遠 心 3台 ロータリー 1台 スクリュウ 3台	スクリュウ 4台	ベルト 2台 スクリュウ 1台
汚泥焼却設備 (処理能力 計)	3基 (320 t / 日)	4基 (660 t / 日)	1基 (60 t / 日)	2基 (60 t / 日)
幹 線 管 渠	37,960 m	89,600 m	26,920 m	19,340 m
ポ ン プ 場	2 箇所	6 箇所	1 箇所	—
上 部 利 用 施 設	四之宮ふれあい広場 5.25 ha	※茅ヶ崎市へ 管理移管	酒匂きらり広場 1.3 ha	扇町しらすぎ広場 1.2 ha

(注) 汚泥脱水設備欄に記載している「ベルト」等の名称は、次の脱水機の種類を表す。

- ・「ベルト」：ベルトプレス脱水機
- ・「遠 心」：遠心脱水機
- ・「スクリュウ」：圧入式スクリュウプレス脱水機
- ・「ロータリー」：回転加圧脱水機

イ 下水処理

(ア) 流入下水道

平成 28 年度の相模川及び酒匂川流域下水道の流入下水道量は、次表のとおりです。

流 域	下水処理場 (管理センター)	流入下水道量 (m ³)		増減 (前年比%)
		平成 28 年度実績	平成 27 年度実績	
相模川	四之宮	83,647,270 (229,170)	86,585,050 (236,570)	△2,937,780 (96.6%)
	柳 島	147,680,330 (404,600)	149,374,760 (408,130)	△1,694,430 (98.9%)
	計	231,327,600 (633,770)	235,959,810 (644,700)	△4,632,210 (98.0%)
酒匂川	酒 匂	31,386,370 (85,990)	20,594,180 (56,270)	10,792,190 (152.4%)
	扇 町	15,315,480 (41,960)	15,869,730 (43,360)	△554,250 (96.5%)
	計	46,701,850 (127,950)	36,463,910 (99,630)	10,237,940 (128.1%)
合 計		278,029,450 (761,720)	272,423,720 (744,330)	5,605,730 (102.1%)

(注)・流入下水道量は年間の数量で、() 内の数字は日平均水量を示す。

- ・平成 28 年度から酒匂管理センターでは、小田原市西部処理区の下水を受け入れました。

(イ) 流入水及び放流水の水質測定結果

流入下水を処理するにあたっては、標準活性汚泥法により適切に処理し、全て法で定める排水基準値以内で処理することができました。

a 相模川流域下水道水質測定結果

処理場 主な項目		四之宮		柳島		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	170	4.7	170	3.1	四之宮 25 (20) 柳島 25
	最大	200	7.6	190	4.6	
	最小	140	3.7	130	2.5	
COD (mg/L)	平均	95	9.8	99	9.3	四之宮 25 柳島 25 (20)
	最大	100	11	110	9.9	
	最小	84	9.1	90	8.8	
SS (mg/L)	平均	194	2.9	196	2.7	70 (50)
	最大	223	5.0	211	4.1	
	最小	157	1.8	185	1.5	
pH	平均	7.3	6.7	7.4	6.7	5.8~8.6
	最大	7.5	6.8	7.5	6.7	
	最小	7.1	6.4	7.3	6.6	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	14 万	35	30 万	69	3,000
	最大	22 万	81	46 万	130	
	最小	8.1 万	5	18 万	35	

(注)・BODは生物化学的酸素要求量、CODは化学的酸素要求量、SSは浮遊物質、pHは水素イオン濃度(水素指数)を表す。

・排水基準は、水質汚濁防止法又は神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準値で、()は日間平均値(1日の平均の値)を示す。

b 酒匂川流域下水道水質測定結果

主な項目		酒匂		扇町		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	170	3.5	130	3.5	25 (20)
	最大	200	7.2	150	5.7	
	最小	120	1.8	120	2.4	
COD (mg/L)	平均	89	8.0	84	10	25
	最大	97	9.3	90	12	
	最小	76	7.4	79	8.2	
SS (mg/L)	平均	176	1.0 未満	164	3.0	70 (50)
	最大	212	3.6	182	5.0	
	最小	127	1.0 未満	145	1.7	
pH	平均	7.4	6.6	7.4	6.9	5.8~8.6
	最大	7.6	6.6	7.6	7.0	
	最小	7.3	6.5	7.3	6.8	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	13 万	10	12 万	140	3,000
	最大	19 万	29	22 万	260	
	最小	5.8 万	2	6.9 万	61	

(注) 相模川流域下水道の注記に同じ

ウ 汚泥処理

(ア) 汚泥等発生量

汚泥等は、次表のとおりです。

流域	下水処理場 (管理センター)	汚泥等発生量 (t/年)		増減 (前年比%)
		平成 28 年度実績	平成 27 年度実績	
相模川	四之宮	55,421	54,509	912 (101.7%)
	柳 島	126,391	127,640	△1,249 (99.0%)
	計	181,812	182,149	△337 (99.8%)
酒匂川	酒 匂	20,255	18,232	2,023 (111.1%)
	扇 町	9,046	9,041	5 (100.1%)
	計	29,301	27,273	2,028 (107.4%)
合 計		211,113	209,422	1,691 (100.8%)

(注) 汚泥等は、脱水汚泥、沈砂・スクリーンかすを表す。

(イ) 焼却灰等処分量

焼却灰等は、全量資源として有効利用しました。

流域	下水処理場 (管理センター)	焼却灰等処分量 (t/年)		増減 (前年比%)
		平成 28 年度実績	平成 27 年度実績	
相模川	四之宮	1,517	2,215	△698 (68.5%)
	柳 島	3,405	4,002	△597 (85.1%)
	計	4,922	6,217	△1,295 (79.2%)
酒匂川	酒 匂	909	656	253 (138.6%)
	扇 町	212	223	△11 (95.1%)
	計	1,121	879	242 (127.5%)
合 計		6,043	7,096	△1,053 (85.2%)

(注) 焼却灰等は、乾灰、加湿灰、焼却沈砂、脱水汚泥を表す。

エ 放射能対策

焼却灰等の放射能濃度や上部利用施設、処理場敷地境界線等の放射線量を測定し、適正な管理を行いました。

オ 機器設備等の管理

処理場に設置されている機器設備は、当社の精密点検・設備補修基準に基づき点検・補修工事を行い、効率的な管理を行いました。

また、機器・設備の状態を把握し施設台帳システムの機能を充実させ、健全度診断を実施しました。

カ 危機管理体制の充実

「神奈川県下水道公社業務継続計画（BCP）」に基づき訓練を実施し、危機管理体制の充実に務めました。

キ 環境対策

焼却炉排ガス等測定調査を実施するとともに、処理場周辺への臭気の影響及び放流水質の安全性を調査し環境保護に努めました。

(ア) 焼却炉排ガス等測定調査

大気汚染防止法に基づき調査を行い、法令を遵守していることを確認しました。

(イ) 敷地境界線等臭気測定調査

処理場周辺の臭気調査を行い、施設の健全なる管理に努めました。

< 敷地境界等臭気調査結果 >

流域	下水処理場 (管理センター)	調査地点数	臭気指数 (最小～最大)	悪臭防止法 規制基準値
相模川	四之宮	7 地点	10 未満～13	15
	柳 島	4 地点	10 未満	15
酒匂川	酒 匂	4 地点	10 未満	15
	扇 町	4 地点	10 未満	15

(注) 臭気指数の「10 未満」は定量下限値未満を表す。

(ウ) クリプトスポリジウム測定調査

人体に影響を及ぼす恐れのあるクリプトスポリジウムについて、流入水及び放流水を調査した結果、含まれていないことを確認しました。

ク 普及啓発

下水道の大切さや必要性を理解していただくとともに、親しまれる下水道となるよう、次の事業を実施しました。

(ア) 施設見学

小学校、自治会、地域の方々などの施設見学を随時受けました。

施設の案内とともに、当公社が作成したパワーポイントや下水道 PR 用 DVD などを活用し、下水道の役割などを説明しました。

<処理場施設見学者内訳>

(人)

流域	下水処理場 (管理センター)	行政機関	学生		一般	団体	計
			小学生	その他			
相模川	四之宮	89 (161)	211 (57)	30 (64)	26 (26)	16 (72)	372 (380)
	柳島	246 (55)	938 (870)	170 (226)	6 (50)	40 (43)	1,400 (1,244)
酒匂川	酒匂	93 (48)	284 (186)	0 (13)	32 (20)	40 (8)	449 (275)
	扇町	0 (111)	403 (79)	1 (67)	21 (0)	0 (0)	425 (257)
合計		428 (375)	1,836 (1,192)	201 (370)	85 (96)	96 (123)	2,646 (2,156)

(注) () は、前年度の見学者数

(イ) 下水道ふれあいまつりの開催

処理場内の上部利用施設において、地元自治会や事業者等と協働し、処理場施設見学、下水道学習室、地域の方々による演奏・踊りなど、多くの方々に参加していただき親しまれる下水道となるよう「下水道ふれあいまつり」を開催しました。

<下水道ふれあいまつり開催結果>

開催年月日	平成 28 年 10 月 29 日 (土)	
主催・共催	主催 神奈川県、下水道公社 共催 相模川及び酒匂川流域関連市町	
開催場所 ・来場者数	相模川流域 柳島管理センター (柳島しおさい公園)	1,036 人 (四之宮：1,105 人)
	酒匂川流域 酒匂管理センター (酒匂きらり広場)	764 人 (扇町：1,063 人)
計		1,800 人 (2,168 人)

(注) () は、前年度の来場者数

(ウ) パンフレット等の配布

下水道のしくみや情報を分かりやすくまとめたパンフレット等を県民の方々に、配布しました。

(エ) ホームページ

汚れた水を綺麗にする下水道の仕組みや施設の概要、地域の方々に利用していただける広場やテニスコートなど様々な情報を発信しました。

<主な項目>

- ▶下水道の維持管理
- ▶下水道のしくみ
- ▶イベント
- ▶お知らせ
- ▶公社情報
- ▶入札情報
- ▶リンク

ケ 上部利用施設利用状況

各処理場の水処理施設上部に設置されている広場の利用状況は次のとおりでした。

<上部利用施設利用状況>

(人)

流域	下水処理場 (管理センター)	施設名	利用者数	備考
相模川	四之宮	四之宮ふれあい広場	73,913 (61,067)	多目的広場、テニスコート (6面)、フットサルコート (1面) ほか
酒匂川	酒匂	酒匂きらり広場	20,485 (19,524)	多目的広場、遊び広場、 お花見広場、噴水池 ほか
	扇町	扇町しらさぎ広場	43,610 (44,183)	芝生広場、ちびっこ広場、 遊具広場、軽運動広場、 噴水池 ほか
計			138,008 (124,774)	

(注) () は、前年度の利用者数

コ 水質規制支援業務

特定事業場等の監視・指導業務を行う流域関連市町及び排水基準を守るための水質管理を行う事業場の担当者を対象に研修会を実施しました。

また、流域関連市町が行う特定事業場等の施設検査や水質異常時の原因究明調査の技術支援（アシスト下水道）を行いました。

(ア) 研修会の開催

a 水質規制担当者特別研修会

<水質規制担当者特別研修会実施状況>

開催日	平成28年11月21日(月)
開催場所	四之宮管理センター
対象者	県及び流域関連市町の水質規制担当職員
受講者数	23名
内容	(1) 下水道法に基づく事業場立入検査について (2) 施設検査の実施方法について (3) 水質検査の簡易方法について(実習) (4) 基準値超過時における指導事例等について

b 事業場排水担当者研修会

<事業場排水担当者研修会実施状況>

開催日	平成28年10月17日(月)
開催場所	四之宮管理センター
対象者	相模川流域右岸処理区の事業場排水処理担当者
受講者数	55名
内容	(1) 下水道の処理について (2) 近年の下水道法の改正等について (3) 事故時の措置について (4) 特定事業場の指導事例等について (5) 下水処理の実際(実地研修)

(イ) 水質規制技術支援業務(アシスト下水道)

<技術支援業務実施状況>

(件)

流域名	水質分析等	立入同行	相談・提案等	施設検査	合計
相模川	24	2	35	17	78
酒匂川	33	1	31	14	79
合計	57	3	66	31	157

(ウ) パンフレットの作成及び配布

排水に係る水質規制のあらましや届出などについて、分かりやすく説明したパンフレットを作成し、公共下水道を使用する事業者と流域関連市町に配布しました。

(2) 下水道の水質分析等受託事業

相模川及び酒匂川流域に関連する市町から特定事業場等の下水の水質分析を受託しました。

<特定事業場等水質調査業務受託概要>

区分 年度 流域	受託市町数			調査箇所数			水質分析数		
	28 A	27 B	差異 A-B	28 A	27 B	差異 A-B	28 A	27 B	差異 A-B
相模川流域 関連市町	8	8	0	118	129	Δ11	7,966	8,432	Δ466
酒匂川流域 関連市町	6	6	0	43	40	3	3,110	3,390	Δ280
計	14	14	0	161	169	Δ8	11,076	11,822	Δ746

3 自主事業

多くの方に下水道への理解と関心を深めていただくための普及・啓発活動及び下水道関係者の知識や技術力の向上を目的とした研修を行いました。

また、維持管理技術の向上と運営の効率化を図るため、調査研究を行いました。

(1) 下水道知識普及啓発事業

ア 下水道作品コンクールの実施

流域関連市町の小学校4年生を対象として、作文、ポスター、書道の作品を募集するコンクールを実施しました。

応募された作品の中から入賞者を表彰しました。

<下水道作品コンクール表彰式>

- ・開催日 : 平成29年2月5日(日)
- ・開催場所 : 茅ヶ崎市民文化会館

<作品応募・入賞数>

区分	作文	ポスター	書道	計	備考
応募数	85 (97)	750 (781)	3,315 (3,665)	4,150 (4,543)	参加学校数: 170 (175) 参加市町数: 21 (21)
入賞数	10	20	40	70	

(注) () は、前年度の実績数

イ 下水道担当職員研修会の実施

県及び市町村の下水道事業を所管する担当職員を対象に、下水道に関する幅広い知識の修得を目的として、次の研修会を実施しました。

<下水道担当職員研修会実施状況>

研修会 コース名	開催年月日 (開催場所)	対象者 (受講者数)	内容
一般	平成28年5月24日 (四之宮管理センター)	主に下水道担当として経験5年未満の職員 (91人)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道法と関連法規 ・下水処理場の仕組みと水質管理 ・下水処理場の見学
専門技術	平成28年11月10日 ①渋谷駅東口基盤整備建設現場 (東京都渋谷区) ②新磯子幹線建設現場 (横浜市磯子区)	主に下水道担当として経験5年以上の職員 (31人)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設現場の視察
管理者	平成28年8月9日 (四之宮管理センター)	主に幹部職員 (43人)	<ul style="list-style-type: none"> ・水防法・下水道法の改正と下水道の浸水対策の新たな展開 ・調査研究結果の報告

ウ 下水道教室の実施

(ア) 下水道出張教室

流域関連市町の小学校へ公社職員が出向き、4年生の授業の中で下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察をしました。

<下水道出張教室実施結果>

学校数	クラス数	人数
21校 (21校)	51クラス (47クラス)	1,675人 (1,376人)

(注) () は、前年度の実績数

(イ) 夏休み下水道教室

流域関連市町在住の方を対象として、下水道の果たす役割や仕組みなどの説明、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察、水の汚れ具合を簡単に見分ける簡易的な水質実験及び下水処理場の見学などを2回実施しました。

さらに、大切な水環境について、より一層理解と関心が深まるよう、上水道と下水道を一体として見学する下水道教室を1回実施しました。

<夏休み下水道教室実施結果>

流域	コース名	開催場所 (管理センター)	実施日	参加者数
相模川	上・下水道コース	四之宮	平成28年8月5日(金)	27人 (30人)
	下水道コース	柳島	平成28年8月7日(日)	48人 (37人)
酒匂川	下水道コース	扇町	平成28年8月13日(土)	29人 (37人)
計				104人 (104人)

(注) () は、前年度の実績数

(ウ) 「下水道サポーター」講座～小学校教員向け下水道教室～

小学校の教員の方々に、汚れた水を綺麗にする仕組みや汚れた水の判定、処理場の見学など、下水道について学んだり体験する講座に参加していただき、理解を深めていただきました。

また、この講座では、授業の中で子供達の理解と関心が高まるような情報や資料を提供しました。

<「下水道サポーター」講座実施結果>

開催場所 (管理センター)	実施日	参加者数
四之宮	平成28年8月2日(火)	8人

エ 市町主催の環境イベントへの参加

流域関連市町が主催する環境等に関するイベントに参加し、来場者に下水道の果たす役割や仕組みを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察していただくなど、環境に対して下水道が果たす役割について PR しました。

<市町環境イベント参加結果>

主 催	イベント名	開催日	公社ブース 来 場 者 数
平塚市	平塚市緑化まつり	4月29日～30日	1,152人
伊勢原市	いせはら環境展	5月14日	440人
南足柄市	環境フェア	6月25日 (6/22～25)	137人
相模原市	さがみはら環境まつり	7月3日	374人
茅ヶ崎市	ちがさき環境フェア	9月24日	451人
中井町	美・緑なかいフェスティバル	10月16日	428人
秦野市	秦野市市民の日	11月3日	372人
寒川町	寒川町産業まつり	11月20日	432人
愛川町	環境フェスタ	11月20日	137人
松田町	まつだ産業まつり	11月27日	224人
合計 (6市4町)			4,147人

(注) 前年度は、7市4町で実施 合計3,689人

(2) 汚水・汚泥処理技術調査研究事業

下水処理場施設の維持管理を行う上で発生する様々な技術的課題事例を捉え、下水道維持管理コストを縮減するノウハウや施設の改善策などに資するテーマについて調査研究を行いました。

研究成果については、調査研究報告書を作成し、様々な場で発表しました。

ア 調査研究実施概要

平成 28 年度は、次の (ア) から (エ) の 4 項目について調査研究を行いました。

(ア) 神奈川県流域下水道終末処理場の電力削減に関する共同研究

実施所属	目的	結果
神奈川県流域下水道終末処理場の電力削減に関する研究会 〔 業務課 水質課 四之宮 柳島 酒匂 扇町 企画課 〕	<p>会社は、従前より電力消費削減目標を設定し、処理場の安定的な運転管理を行いながら節電に取り組んできました。</p> <p>しかし、近年はその手法が固定化してしまっただため、平成 27・28 年度の 2 ヶ年で (公財) 日本下水道新技術機構と共同研究を実施し、処理場の電力使用量等の実態把握を行い、更なる電力削減効果の検討を行いました。</p>	<p>消費電力が大きい送風機について現状の運転を解析したところ、反応タンクへの供給空気量の削減が可能であると思われた。</p> <p>そこで、四之宮管理センターにおいてアンモニアセンサーを使用した送風量制御の手法について検討した結果、電力量で約 4% の削減効果が得られました。</p> <p>また、4 管理センターにおける焼却炉等の現有機器を省エネ機器に更新することによる電力削減を検討した結果、約 20~60% の削減効果が見込まれました。</p>

(イ) 浸出液排水設備の管理手法の見直しに関する検討

実施所属	目的	結果
水質課 業務課	<p>相模川汚泥貯留地の浸出液を公共下水道へ排水しているが、フェノール類の濃度が下水道法の排除基準 (0.5mg/l) を超過する恐れがあるため、現場で簡易分析により求めた濃度から随時希釈倍率を変更しています。</p> <p>しかし、連休等で簡易分析ができないときは、設定値上限の希釈で対応しています。浸出液のフェノール類が生物化学的に分解できるならば、滞留により濃度低下が期待できます。</p> <p>また、その効果を排水設備の管理手法見直しに生かせれば、更なる下水道料金の削減につながります。</p>	<p>生物化学的分解における浸出液の濃度変化の確認を行った結果、24 時間以上滞留させることでフェノール類の濃度が約 1/2 以下に低下することが確認できました。</p> <p>この結果から、公共下水道料金を従来の希釈方法と比較したところ、年間約 340 万円の削減が見込まれました。</p> <p>今後も引き続き、滞留時間を延ばした場合の濃度低下と最適な希釈倍率を検討し、システムを含めた総合的な運用方法の見直しに生かしたい。</p>

(ウ) 過給式流動炉の運用について

実施所属	目的	結果
四之宮管理センター	<p>環境配慮型焼却炉である過給式流動焼却炉は、電力使用量及び温室効果ガスを削減できることが確認されています。平成26年9月より稼働した過給式流動炉(北系2号焼却炉)の運用、初期不具合対策について検討しました。</p>	<p>通常の気泡流動炉(北系1号炉)と比べて、電力使用量は原単位(kWh/t)で約60%、温室効果ガス(CO2)も原単位(kg-CO2/t)で約65%削減されました。</p> <p>初期不具合として、排ガスのばいじん濃度上昇など数件あったが、対策を講じ、現在は解消されました。</p> <p>効率的な運用として、汚泥発生量に見合った低負荷による連続運転を行い、設備の長寿命化を図りました。</p>

(エ) 寿町終末処理場の流域下水道編入に係る維持管理対応について(継続)

実施所属	目的	結果
酒匂管理センター	<p>小田原市寿町終末処理場(以下「寿町」という。)は、平成28年4月1日に酒匂管理センター(以下「酒匂」という。)へ編入しました。</p> <p>平成16年度から寿町で発生した汚泥は、圧送管により酒匂に送泥し処理していましたが、編入にあたり圧送管を撤去する必要があり、その工事を平成28年2月に実施しました。</p> <p>圧送管撤去工事時に発生した、寿町における長期の汚泥引抜停止及び貯留、酒匂における貯留汚泥の処理について寿町・酒匂両処理場への影響を調査し、調査結果を平成25年度に実施した検証結果と比較するなど検証を行い、酒匂川流域における長期間汚泥引抜きを停止する場合の維持管理手法の確立を図ろうとするものです。</p>	<p>酒匂における貯留汚泥処理時のデータを平成25年度に行った検証実験結果との比較などの解析から、処理場の運用方法及び工事時期、汚泥貯留期間については、事前に実施した検証実験と同様な結果となりました。</p> <p>処理場における維持管理手法として、手順書作成時の留意点を「汚泥を貯留する処理場」「貯留汚泥を処理する処理場」別にリストアップすることで、維持管理手法の確立を図りました。</p> <p>また、処理施設内に残る処理工程水の処理状況についてもまとめ、今後の資料としました。</p>

イ 研究発表

(ア) 研究発表

平成 28 年度に行った研究発表は、次のとおりです。

<発表会：第 53 回下水道研究発表会>

主 催	公益社団法人日本下水道協会
実 施 日	平成 28 年 7 月 28 日
開 催 場 所	ウインクあいち（愛知県名古屋市）
発表テーマ	寿町終末処理場の流域下水道編入に係る維持管理対応について

(イ) 調査研究報告書の作成・配布

公社内情報提供コーナーに備え置き、また、公社ホームページにも掲載しました。

<調査研究報告書> *電子データとして作成

名 称	調査研究報告書（第 34 号）
掲 載 内 容	①活性炭交換時期の適正化について ②汚泥処理施設へのポリ硫酸第二鉄注入による硫化水素発生抑制効果について ③水処理施設における汚泥引抜ポンプの振動対策について

<管理部門>

1 職員の状況

(平成29年3月31日現在)

組 織	長の氏名	構 成 職 員 数					
		事務	土木	機械	電気	化学	計
総 務 部 長	田代秀行					1	1
業 務 部 長	海野 淳			1			1
総 務 課 長	(田代秀行)	8					8
企 画 課 長	小柴義隆	2	1	1			4
業 務 課 長	(海野 淳)		1	1	1	1	4
設 備 担 当 課 長	川端国男			1			1
水 質 課 長	川地知代子					7	7
四之宮管理センター所長	川島由美子			3	3	4	10
柳島管理センター所長	西村佳裕		1	4	4	3	12
酒匂管理センター所長	川原俊彦		1	1	1	3	6
酒匂管理センター 扇町駐在事務所長	渡辺俊一			1	1	2	4
合 計		10	4	13	10	21	58

(注) 構成職員には非常勤職員を除く。

2 役員及び評議員の状況

ア 役員数

(平成29年3月31日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
理 事 長	1	—	1
常 務 理 事	2	—	2
理 事	—	6	6
監 事	—	2	2
計	3	8	11

イ 評議員数

(平成29年3月31日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
評 議 員	—	9	9

ウ 役員一覧表

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
理 事 長	藤 井 良 一	常 勤	
常 務 理 事	若 山 廣 文	〃	
〃	木 下 幸 夫	〃	
理 事	足 立 原 満	非 常 勤	厚木市 道路部 専任参事
〃	近 藤 充 志	〃	南足柄市 都市部長
〃	黒 木 久	〃	寒川町 都市建設部長
〃	武 井 良 平	〃	中井町 上下水道課長
〃	竹 内 淳	〃	松田町 環境上下水道課長
〃	中 村 武 司	〃	愛川町 建設部長
監 事	福 井 哲 也	〃	秦野市 上下水道局 参事兼経営総務課長
〃	猪 鼻 久 義	〃	公認会計士

エ 評議員一覧表

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
評 議 員	斉 藤 進	非 常 勤	産業能率大学 情報マネジメント学部教授
〃	伊 與 亨	〃	北里大学 医療衛生学部講師、 博士、技術士(衛生工学部門)
〃	河 西 龍 二	〃	相模原市 都市建設局 下水道部長
〃	石 田 晃 一	〃	平塚市 土木部長
〃	鶴 田 洋 久	〃	小田原市 下水道部長
〃	塩 崎 威	〃	茅ヶ崎市 下水道河川部長
〃	西 海 昌 樹	〃	神奈川県 湘南地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	仲 谷 政二郎	〃	神奈川県 県西地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	鈴 木 勲 生	〃	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 下水道課長

3 理事会開催状況

<第1回理事会>

- 日 時 : 平成 28 年 6 月 9 日 (木)
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)
出席者数 : 理事 7 人 監事 1 人
議 事 : (第 1 号議案) 平成 27 年度事業報告書及び決算報告書
(第 2 号議案) 評議員会の招集の件
報告事項 : (1)平成 27 年度第 3 回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行
状況報告
(2)専決処分事項の報告 (規程の一部改正)
(3)第 5 期経営改善計画 平成 27 年度実績状況報告書

<第2回理事会>

- 日 時 : 平成 28 年 6 月 24 日 (金)
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)
出席者数 : 理事 9 人 監事 1 人
議 事 : (第 1 号議案) 理事長及び常務理事の選定の件
(第 2 号議案) 事務局長の選任の件
報告事項 : (1)平成 28 年度事業計画書及び収支予算書
(2)平成 27 年度事業報告書及び決算報告書
(3)第 5 期経営改善計画 平成 27 年度実績状況報告書

<第3回理事会>

- 日 時 : 平成 29 年 3 月 24 日 (金)
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)
出席者数 : 理事 6 人 監事 2 人
議 事 : (第 1 号議案) 平成 29 年度事業計画書
(第 2 号議案) 平成 29 年度収支予算書
報告事項 : (1)平成 28 年度第 2 回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行
状況報告
(2)専決処分事項の報告 (平成 28 年度収支補正予算書、規程の一部
改正)
(3)規程の一部改正 (予定)

4 評議員会開催状況

<第1回評議員会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び公益財団法人神奈川県下水道公社評議員会運営規則第9条第3項による評議員会決議の省略

評議員会の決議の内容

「評議員の選任の件」

評議員会の決議があったものとみなされた日

平成28年4月1日（金）

<第2回評議員会>

日 時：平成28年6月24日（金）

場 所：公益財団法人神奈川県下水道公社（平塚市）

出席者数：評議員6人 理事3人

議 事：（第1号議案）平成27年度計算書類の承認の件
（第2号議案）任期満了に伴う理事の選任の件
（第3号議案）評議員の選任の件

報告事項：(1)平成27年度事業報告書

(2)平成27年度収支補正予算書

(3)平成28年度事業計画書及び収支予算書

(4)第5期経営改善計画 平成27年度実績状況報告書

5 情報公開

当社は、四之宮管理センターに「情報提供コーナー」を設置し、以下に記載する各種公社情報について県民の自由閲覧に供しています。

<各種の公社情報（主な提供資料）>

- ・定款
- ・役員及び評議員名簿
- ・役員及び職員名簿
- ・事業計画書
- ・収支予算書
- ・事業報告書
- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録
- ・収支計算書
- ・監査報告書
- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程

- ・経営改善計画
- ・各種パンフレット類
- ・その他下水道に関する情報誌 等

事業報告の附属明細書

公益財団法人神奈川県下水道公社定款第10条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に事業内容を細部にわたり記載しているため作成しておりません。